

みたけ夢だより

12月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

創立40周年感謝の会を迎えて

校長 長尾 晴美

学校を開く週間の11月19日(土)には、多数の保護者の方々に授業を参観いただきましてありがとうございました。続く3校時には、創立40周年を祝う感謝の会を行いました。計画委員の6年生が進行を務め、ご来賓60名をお迎えしての会が始まると、体育館に全校児童の拍手が響きました。嬉しいことに、校歌作曲者の小山内たけともさんと、愛唱歌「白い校舎」作曲者の榎山久美子さんが会に出席してくださり、お二人に全校児童による歌声を届けることができました。ご自分の創られた曲が今でも変わらず歌い継がれていることを感慨深く振り返っていらっしやいました。二部合唱曲の校歌と「白い校舎」は、高学年になると下のパートで歌い、実に美しいハーモニーとなります。全校児童が10年後の自分に宛てて書いた手紙は、緑色のタイムカプセルに入れられ、今から10年後の50周年の年に開ける事になっています。きっとそのときにも今と同じようにすてきな歌声が学校に響くことと思います。

感謝の会に先立ち、開校当時やそれ以前の学校の周りの様子を、1・2年生は宮田要さん、3年生は村田和美さん、4年生は飯島文夫さん、5・6年生は村田範夫さんからお話していただく機会をもちました。いずれもスクールゾーン協議会や畑・田んぼの学習、地域の行事等でお世話になっている地域の方々です。昔は林と畑だった土地を、学校のためにご提供くださった地域の方々の思いによって山が削られ通いやすいように整地していただけたこと、それまでは鉄小学校や青葉台小学校に通っていたこと等写真や図面をご呈示いただきながらわかりやすく質問にお答えくださいました。電車の駅ができたことで街ぐるみで発展してきたこの地域の様子に、子どもたち一人ひとりが思いを馳せるきっかけとなりました。

午後にはおやじの会恒例のイベントが合わせて開催されました。一年前から準備していただいていたイベントには、お祭りのときのように盛り上がった子どもたちの姿がありました。楽しいステージ発表・クイズに答えて回るウォークラリー・滑走路で飛ばす紙飛行機作り・液体窒素の理科実験、ファイヤーイベント、サプライズのおやつありのそれは楽しい企画が満載でした。現役のおやじの方はもちろんのこと、お子さんが卒業されても運営に携わってくださるおやじの方々の、変わらぬ熱意とみた小の子どもたちを思ってくださる心意気に深く感謝いたします。

12月はいじめ防止月間です。人権週間の取組も合わせ、みたけ台小こども憲法の由来や人権尊重の意味を見つめ直す月にしたと考えています。自分や周りの人を大切にできるみたけの子をしっかり育てていけますよう、どうぞ皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

